

## ■ごみ減量とリサイクルへの取組み

廃プラスチック類分別収集がスタートして半年以上が経過しました。平成22年度の廃プラスチック類は年間152トンの収集目標をたてており、半年分で76トンの計算になりますが、9月末で94トンとなっており、目標より2割程度上回っています。

これに対し、可燃ごみ・不燃ごみの収集量は21年度上半期の収集量と比べて、可燃ごみで約14パーセント、不燃ごみは約15パーセントとそれぞれ減少しており、「ごみの減量とリサイクル」を目指した廃プラスチック類分別の効果が着実に現れてきていると考えられます。

その一方で、汚れが付着したものや、紙製のカップめん容器といった廃プラスチック類対象外のものが混在されていることにより資源化されない事例が一部で見受けられます。今一度、「ごみ分別ガイドブック」を確認されますようお願いいたします。



平成22年4月～9月までの収集量 (単位:トン)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	計	21年度 4月～9月
プラスチック	16	15	15	18	16	14	94	-
可燃ごみ	182	198	214	228	242	200	1,264	1,477
不燃ごみ	48	56	40	44	41	45	274	321

### 廃プラスチックはどこへ？

家庭から排出された廃プラスチックは、苫小牧市柏原にある明円工業(株)中間処理施設へ搬入されます。

搬入された廃プラスチックが選別機にかけられた後に、左の写真のように作業員が手作業で紙類等の不適物を取り除きます。

### お願い！

#### 汚れたままではダメ！

1つの汚れが、全体の汚れとなり、うまくリサイクルされません。

#### 「二重袋」にしない！

二重袋：指定袋にレジ袋等で小分けにすること

#### 危険物(ライター等)は入れないで！

危険物(ライター、スプレー缶、刃物等)が混入されていると、収集・選別それぞれの作業をする人にとって大変危険です。

## 財政状況

地方自治法の規定に基づいて、平成22年9月30日現在の安平・厚真行政事務組合会計の歳入歳出、財産、地方債の状況についてお知らせします。

### 予算の執行状況 (平成22年9月30日現在)

歳入	予算現額	収入済額	収入率%
分担金及び負担金	296,723,000	148,364,000	50.0%
使用料及び手数料	1,000,000	474,630	47.5%
国庫支出金	11,074,000	9,967,000	90.0%
財産収入	838,000	1,348,899	161.0%
繰入金	5,988,000	0	0.0%
繰越金	1,000	919,343	91,934.3%
諸収入	9,032,000	5,420,010	60.0%
組合債	19,900,000	0	0.0%
歳入合計	344,556,000	166,493,882	48.3%

### 地方債の状況

区分	平成22年9月30日現在高
一般廃棄物処理事業債	228,842千円
道貸付金	4,532千円
合計	233,374千円

※ 国などから借り入れた長期間の借入金です。

### 歳出 (単位:円)

歳出	予算現額	支出済額	執行率%
議会費	159,000	49,125	30.9%
総務費	21,434,000	11,111,749	51.8%
衛生費	275,023,000	117,614,035	42.8%
公債費	46,940,000	22,689,919	48.3%
予備費	1,000,000	0	0.0%
歳出合計	344,556,000	151,464,828	44.0%

### 組合財産状況

建物	2,123.03 m <sup>2</sup>	塵芥(じんがい)処理場 有機物供給センター 保管庫
物品	車両 3台	公用車 ホイールローダー 油圧ショベル
基金	25,902千円	廃棄物処理施設整備基金

※ 物品は、購入金額百万円以上を記載しています。

## 安平・厚真行政事務組合のページ

### ■平成21年度のごみ処理状況

安平・厚真行政事務組合では、2年前より毎年広報を通して1年間のごみ処理の状況を公表しています。

平成21年度において、二町(安平町・厚真町)の皆さんが出されたごみの排出量やリサイクルの状況、ごみ処理にかかった経費をお知らせしますので、発生源である私たち一人ひとりが今一度『ごみ問題』について考えてみましょう。



#### ごみの排出量

安平町・厚真町における過去5年間の家庭系及び事業系のごみ排出量と人口の推移はグラフ1のとおりです。

平成21年度は前年度と比べ、家庭系と事業系のごみを合わせて安平町で62トン、厚真町では59トン増えました。増えた要因を分析しますと、家庭系のごみは下げ止まりから微増となったこと、また、事業系は前年度に安平・厚真両町で実施した緊急雇用対策事業の実施に伴う町道、河川敷、公園の枝払いによる枝木の搬入によるものと考えられます。

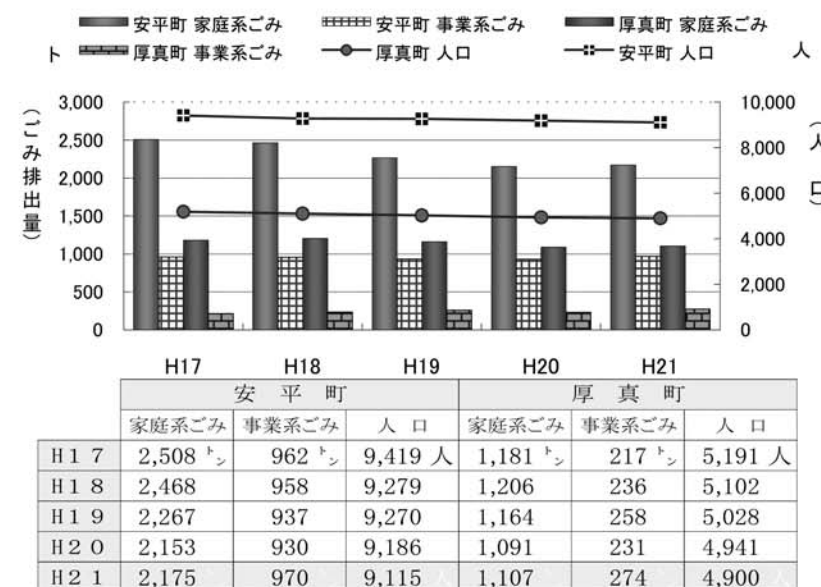
ここ数年、安平・厚真両町のごみは大きく減少していましたが、平成21年度の実績に現れたように減量の下げ止まりの局面と思われまます。ごみを継続的に減らし続けることは不可能ですが、無駄なごみを増やさないことだけは常日頃心がけたいものです。



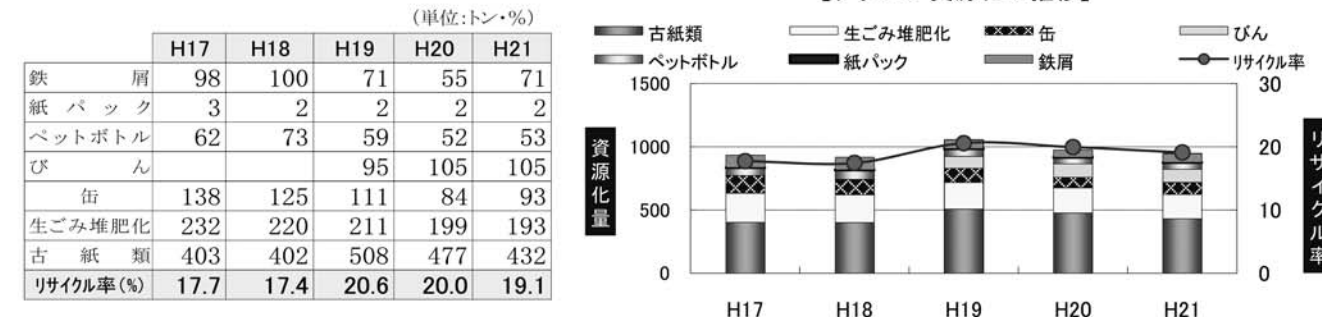
#### 資源化の推移

平成21年度のリサイクル率は前年度対比で0.9ポイント下がりました。主な要因として古紙類が減少し、その一方でごみの排出量が増えたことによります。

【グラフ1 ごみ排出量・人口推移】



【グラフ2 資源化の推移】



#### ごみの処理経費

平成21年度のごみ処理経費の総額は、385,378千円で内訳はグラフ3のとおりです。

ごみの収集運搬経費、ごみの焼却・埋立・資源化などを行うごみ処理経費、組合の処理場の維持管理経費及び人件費等が直接ごみ処理に要した経費で、1トンあたり約55,000円の処理経費になります。また、平成21年度は、焼却施設や煙突を解体しストックヤード施設を整備するための新設改良費が新たにかかりました。

【グラフ3 平成21年度ごみ処理経費の内訳】



※ グラフ中、公債費は施設整備のため国などからの借入金の償還金、議会費等は組合議会の経費並びに監査委員経費です。